

# 収録理論の紹介

競馬道GT2には、著名な競馬評論家による8本の予想理論に加え、競馬道独自の理論9本と全GIレース対応理論21本の、合計38本の理論を収録しています。

## 汎用理論

・競馬道汎用理論  
どんな条件のレースにも対応できる汎用理論です。前作の「競馬道GT」でも安定した的中実績を誇っており、競馬道GT2にも変更なく採用されています。

・競馬道ワイド汎用理論  
ワイド向きの汎用理論です。予想項目のうち、「騎手距離3着内率」の比重が高めに設定されています。

## 3連単対応理論

・競馬道1着馬候補理論A  
3連単らしくウィザードの1着馬候補を選ぶときに使用いただきたい理論です。ケイパブックの予想印だけを用いた直球勝負の理論ですが、データでは今年3月13日より7月11日までで3連複配当が20000円以内かつ単勝100円～290円の場合（該当346レース）、予想印◎の的中率は約70%、単勝回収率は約135%をマークしており、実績のある理論です。予想印◎が2.9倍以下の場合に狙ってみたい理論です。

・競馬道1着馬候補理論B  
3連単らしくウィザードの1着馬候補を選ぶときに使用いただきたい理論です。着順評価と人気評価を用いてバランスよく勝ち馬を探る理論となっています。

・競馬道2・3着馬候補理論A・B  
3連単らしくウィザードの2着馬候補を選ぶときに、「3着馬候補は2着馬候補と同じ」にチェックを入れると、2回で予想が終了、1着馬からへの2、3着馬へのボックスとなります。こうした買い方をされる時におすすめの理論です。もちろん2着馬候補選びだけでも構いません。なおAは競走馬、騎手、厩舎にポイントを置き、Bはタイムと種牡馬にポイントを置いています。

・競馬道3着馬候補理論  
3連単らしくウィザードの3着馬候補を選ぶときに使用いただきたい理論です。騎手、厩舎、競走馬の3着、3着内率にこだわった理論にいたしました。

## メインレース理論 / 最終レース理論

・競馬道メインレース理論  
メインレースの予想に特化した理論です。

・競馬道最終レース逆転理論  
最終レースで「一発逆転」を狙う理論です。

## GIレース理論

中央競馬の全GIに対応する21本の理論です。

## 競馬評論家による理論

著名な競馬評論家陣による理論が計8本収録されています。理論のポイント等について次ページ以降で解説して頂いてますので、詳しくはそちらをご覧ください。

## 競馬評論家の理論

著名な競馬評論家陣によるプロの「予想理論」とその予想項目の設定のポイントを解説していただきました。予想の実行にはもちろん、オリジナルの理論を構築する際の参考としてお役にください。

### 原 良馬



競馬の予想には様々な要素がありますが、私が最も重視する要素は、各馬の「距離適性」そして「コース実績」（競馬場適性・芝ダート適性）です。次に騎手の実績や着差タイムなどを考慮しながら予想を組み

立てていきます。

新馬券が発売され馬券の選択肢が増えたことで、予想の楽しみも増えましたが、それと同時に検討する要素も多くなりました。むやみに高配当を狙って馬単・3連複・3連単を買うのではなく、予想するレースが堅そうか、荒れそうかという点に着目して、どの馬券を買うのを見極めましょう。

私たち専門家は「勝つ馬を見つける」ことが仕事ですから、馬単の予想には自信があります。馬単専用理論は、勝ち馬を堅実に押さえるための理論です。競走馬の「勝率」「コース適性」を重視しています。「競走馬2着率」は「特に大崩れをしないか勝てない馬」を探すために、馬単予想ではぜひ押さえてほしい要素です。

3連複は高い配当ばかりが印象に残りますが、実際は1・2番人気絡む確率が大変高いことを忘れないでください。私は4頭ボックス4点買い程度に点数を押さえ、3000円から8000円程度の配当を確実に当てていくことをおすすめします。3連複理論は馬の距離実績や距離3着内率など、競走馬の距離適性を重視した理論になっています。

ただ、予想するレースに合わせて馬券を選ぶことが大切であると前述したように、レースのクラスや距離を考慮することで重視する要素は変化します。新馬戦では血統・騎手を重視すること。特に有力ジョッキーが、地方開催にわざわざ来て乗るような場合は要注意です。長距離戦では、ペース配分や仕掛けのタイミングのうまい、実績のある騎手がキーポイントになります。このように、予想するレースに合わせて臨機応変に理論を調整することで、回収率を上げることができるといえます。

### 原良馬の馬単理論

競走馬	競走馬勝率	100	競走馬	競走馬コース適性	100
競走馬	競走馬2着率	60	厩舎	トレーナー連対率	100
騎手	騎手クラス連対率	60	競走馬	穴馬期待度	50
人気オッズ	人気評価	100	タイム	上がり3F	100



### 原良馬の3連複理論

競走馬	競走馬距離連対率	85	種牡馬	種牡馬距離実績	100
競走馬	競走馬距離3着内率	35	種牡馬	種牡馬競馬場実績	100
競走馬	穴馬期待度	10	厩舎	トレーナークラス3着内率	50
騎手	騎手クラス3着内率	85	タイム	着差タイム	30

競馬道GTより、「新・3連複大穴理論」を掲載させていただきました。名前どおり、3連複の穴馬券をゲットするための理論です。この理論による予想結果は、競馬道OnLine上で毎週発表。こちらの想定である「6頭ボックス20点買い」ではなく、「5頭ボックス10点買い」という厳しい条件にもかかわらず、毎週のように高配当を的中させています。トリガミである安い配当も当たってしまうのが玉に瑕ですが、3連複の馬券戦略としては、なかなか面白い視点だったのではないかと考えているところです。



さて、今回の「競馬道GT2」の予想項目ですが、基本的には前回の「競馬道GT」と同じ10項目を使っています。「種牡馬レース実績」と「種牡馬距離実績」が新しくなりましたので、それを反映させています。「的中率よりも回収率を重視」というコンセプトは変わりません。多少的中率を犠牲にしても、穴馬券を的中させることに主眼を置いています。3連複の穴馬券を狙うためには、あまり人気に結びつかないファクターを使うことが大切です。したがって、騎手に関するファクターなどは、最低限のものだけを利用しています。

この理論の検証ですが、2004年2月1日から2004年7月31日までの1600万下、オープン、重賞レース、3連複で2010円以上の配当が出たレースを対象にやってみました。2010円以上の配当としたのは、6頭ボックス20点買いが基本なので、2000円未満の配当ではトリガミになってしまうからです。20点の買い目の内、20倍以下のフォーカスはすべて外すことを想定しています。回収率重視で行くなら、トリガミの馬券を買っても仕方ありません。回収率を計算したところ、全135レース中29レース的中。的中率21%回収率184%をマークしました。前回の「競馬道GT」同様、高い回収率をマークすることができました。なお、3連複20倍以下のレースも入れると、的中率は向上するでしょうが、やはり回収率が低くなってしまおうと思います。

的中した万馬券は、ラジオたんぱ賞の4万5250円を筆頭に皐月賞の2万610円、京都牝馬Sの1万6320円など、重賞レースの高配当をバシバシ的中！ 万馬券には至りませんでしたが、日本ダービーの3460円も的中。クラシックレースにも通用することを証明できました。また、春望Sの4万8850円は、シンガリ人気の馬をひっかけての的中でした。ファクターを上手く組み合わせることで、誰も気にも留めないような超大穴馬を見つけることが可能になります。

実際にこの理論を馬券に応用される場合ですが、「狙ったレースで大きく勝負！」というやり方には向かないとお考えください。数多くのレースで100円ずつ試してみても、たまに穴馬券が引っかかったら儲けモノ。そんな買い方が一番向いているはず。狙って取りに行くのではなく、引っかかると行く馬券術。そういうやり方もまた、競馬の楽しみ方の一つでしょう。

市丸博司の新・3連複大穴理論

ブック	レコード指数	10
種牡馬	種牡馬レース実績(新)	97
厩舎	トレーナークラス3着内率	86
種牡馬	種牡馬クラス3着内率	35
タイム	着差タイム	78
騎手	騎手クラス3着内率	55
種牡馬	種牡馬距離実績(新)	85
競走馬	距離適性	57
ブック	レイティング	36
競走馬	斤量評価	28



「直結指数」は競走馬の適性を数値化しているため、競馬道GT2の予想ファクターと合わせる場合、能力系のファクターと好相性を示す。なぜなら、コース適性の高い馬でも極端に能力が低ければ5着止まりかもしか、反対に適性が平均的でも能力がズバ抜けて高ければ2~3着で馬券に絡む可能性があるからだ。そこで、「直結指数=100」をメインファクターにした上に、信頼度の高さを表す「競走馬・3着内率=40」と能力の高さを表す「オッズ評価(前後200m・過去5走)=40」で能力的な要素を補完することにより、爆発力と信頼度を兼ね備えた新馬券術「直結理論GT」を完成させた。



「直結理論GT」を利用して機械的に馬券を購入するとき、お奨めしたい条件は「3歳・3歳以上・4歳以上×500万クラス以上のレース」である。なぜなら、直結指数は競走馬の実績からコース適性を指数化するので、2歳戦や新馬・未勝利戦よりも、キャリアを積んだ馬が出走するレースの方が、正確な指数を提供できるからである。そこで、前述した条件にて、「直結理論GT」の上位5頭BOXで3連複を購入したときの回収率を集計した。期間内(2004年3月20日~7月20日)の対象386レースにて、3連複を1点100円で購入したときの総額386,000円、そして、払戻しは560,680円もあった。機械的に馬券を購入しての回収率145.3%は、驚異的な好成績といえる。

特に回収率が高かったのは、表の4競馬場。最も高いのは回収率486.6%の小倉競馬場だが、対象レースが54もありながら回収率397.9%の阪神競馬場も非常に優秀な成績。「直結理論GT」は、元々前作のソフト発売を機に開発した馬券術だが、利用者からの反響が高かったことから、今回も取り上げて頂くことになった。つまり、理論発表後も馬券成績が良かったからこそ生き残り、高い回収率を記録しているのだ。

競走馬3着内率とオッズ評価という競走馬の能力を示すデータを含めると、通常は的中率が上がっても穴馬券は取り難くなるものだが、「直結理論GT」は高配当の馬券も的中させている。例えば、04年4月10日阪神のアザレア賞は「直結理論GT」4位-5位-2位の決着で3連複176,070円・馬連41,980円が的中。さらに、7月3日函館の江差特別も「直結理論GT」4位-1位-3位の3連複105,830円が的中しており、10万馬券を何度も手にすることができた。的中率と回収率のバランスが良い馬券術だといえる。

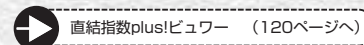
最後に、直結指数に関して告知させて頂くと、競馬道OnLineでは、直結指数と実績指数をクロスさせた「直結指数plus!」のデータ配信を行っている。指数と買い目をビューワーにて閲覧できるので、そちらも併せてご利用頂ければと思う。

3連複で高い回収率を上げた競馬場  
(2004年3月20日~7月20日)

競馬場	レース数	的中数	的中率	回収率
小倉	7	2	28.6%	486.6%
阪神	54	11	20.4%	397.9%
函館	36	6	16.7%	318.8%
京都	32	7	21.9%	204.7%

直結理論GT

競走馬	直結指数	100
競走馬	競走馬3着内率	40
人気・オッズ	オッズ評価	40



## 木下信之 単勝はこれで狙う！ 「展開指数スペシャル」

今回「競馬道G T2」のソフトに「展開指数」を搭載させていただきました。展開指数の理論を簡単に説明しますと、「前2走の4角順位」と「前走からの距離・トラック変化」をベースに、展開的に優位で配当期待値の高い馬をデータで明らかにした理論です。指数は単勝回収率を使用しており、中山芝1200mを例にとると、①前々走の4角順位が1～2番手（逃げ）②前走の4角順位が1～2番手（逃げ）③前走と同距離（芝1200m）の場合は、単勝回収率107%＝指数107となります。今回ソフトに搭載したのは展開指数の中でも単勝勝負に強い「展開バイアス単勝指数」で、単勝狙いはもちろん馬単及び来るべく3連単の1着軸を明らかにする指数で、内容的には「展開バイアス指数（単勝回収率）×勝率」をデータ化しており、配当期待値が高くかつ的中率も高い優れたものの指数です。

次に競馬道G T2での「展開指数」を使った必勝理論作成方法について説明いたします。展開指数については展開的に純粋に優位で配当期待値の高いパターンを明らかにする理論で、能力等他の要素は含んでおりません。したがって展開指数と合うファクターとのクロスにより回収率・的中率を高めることができます。下記の「展開指数スペシャル」は、展開と密接な関わりのある能力系ファクターとして「前半3F」「上がり3F」、データの全般的な信頼度を高めるため「競走馬勝率」「競走馬3着内率」「オッズ評価」、展開を左右する出走頭数・枠順をデータ化した「頭数実績」「枠順実績」をクロスさせて作成いたしました。データ検証対象期間は2004年1月5日～7月11日までの芝レース（2001年の馬場改修のため、サンプルが少ない新潟を除く全競馬場・計603レース）で、買い目は指数上位2頭の単勝2点買い。オッズ1倍台は単勝2点買いなので的中しても損をするパターンとして除外しました。平均的中率は約32%・平均回収率は約83%ですが、芝1600m以下での回収率・的中率が高くなるような設計をしているので、芝1600m以下での的中率は約33%・回収率は約100%となります。又中級条件戦には減法強く、1000万・1600万・オープン特別での平均的中率は約38%・平均回収率は約114%と成績は跳ね上がります（別表）。マイル以下の中級条件では特に狙い目の理論と言えます。今後は中・長距離必勝パターン・ダート必勝パターン・グレードレース必勝パターンを作成し、紹介したいと思っています。皆さまも是非「展開指数」をご活用ください。

### 高い回収率を上げたクラス (2004年1月5日～7月11日まで)

クラス	レース数	的中数	的中率	回収率
1000万下	120	47	39.2%	104.2%
1600万下	40	16	40.0%	127.0%
オープン	32	9	28.1%	111.1%

### 展開指数スペシャル

競走馬	展開指数	100
競走馬	競走馬3着内率	35
競走馬	頭数実績	100
競走馬	枠順実績	71
競走馬	競走馬勝率	33
人気・オッズ	オッズ評価	100
タイム	前半3F	100
タイム	上がり3F	33

